

平城京をめぐる宮都マングラ

難波宮と難波津

海の彼方への憧れと不安

図書情報館では、開館以来、「館長公開講座 図書館劇場」と銘打ち、平城京を巡る歴史から、また吉野から、現在では忘れられている奈良の先進性や原風景を明らかにしてきました。今年度は、平城遷都1300年を来年に控え、「平城京をめぐる宮都マングラ」をメインテーマに、奈良時代の都の変遷をたどり、遷都1300年の奈良の姿を浮き彫りにします。第3幕は「難波宮と難波津―海の彼方への憧れと不安」をテーマに開催します。なお、本公開講座は毎回、奇数月の第4土曜日の13:00～16:00に開催します。

講演① 千田 稔 (当館館長)

朗読

都築 由美氏 (アナウンサー)

司馬遼太郎著『十六の話』所収「大阪の原形」より

講演②

中尾 芳浩氏

「複都制と難波京―発掘成果と課題―」

「平城京と難波津」

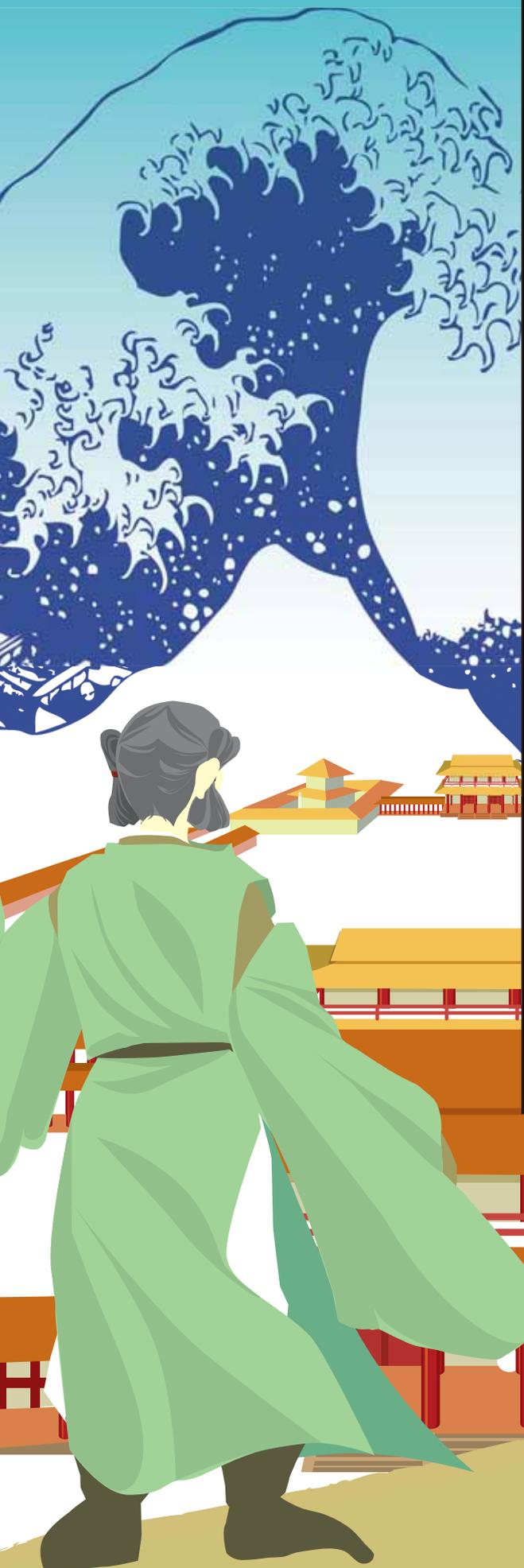
司馬遼太郎著『十六の話』所収「大阪の原形」より

「複都制と難波京―発掘成果と課題―」

日時：平成21年9月26日(土)

13:00～16:00(開場12:00)

場所：1階 交流ホール



1936年に大阪市生まる。1959年、京都大学文学部史学科（考古学専攻）卒業。
 1960年から1990年に難波宮址顕彰会・大阪市立博物館・大阪市教育委員会職員として、
 難波宮跡の発掘調査・研究とその保存・環境整備事業に従事。
 1990年から2004年にかけては帝塚山学院大学文学部教授。京都大学博士（文学）。
 1991年から現在、「上智大学アンコール遺跡国際調査団」考古班のメンバーとしてアン
 コール遺跡の発掘調査と保存修復活動に参加し、現在、帝塚山学院大学非常勤講師、（財）
 京都府埋蔵文化財調査研究センター副理事長。
 主な著書に、『難波宮址の研究』第4～第10（発掘調査報告書、共著）『難波京』・『難
 波宮の研究』（単著）『シンポジウム古代の難波と難波宮』（編著）『アンコール遺跡の
 考古学』（編著）などがある。

参加申込み

定員：300名、先着順（定員になり次第締め切ります。）
 参加料：1人 500円（資料代等、当日、受付にて徴収します。）
 申込方法：往復はがき、FAX、メール、電話または来館による申込みもできます。
 （2階カウンターにて受け付けます。）

なお、当館ホームページ「申込みフォーム」からもお申込みいただけます。

※ ① 郵便番号・住所 ② 氏名 ③ 連絡先電話番号（FAXでのお申込みの場合は、必
 ずFAX番号もお書きください。）を記入し、「図書館劇場Ⅳ第3幕申込み」と明記
 してください。また、往復はがきで申込みの場合は、返信にも送付先の郵便番号、
 住所、氏名を必ず記入してください。

※ 1通につき、2名様までのお申込みとします。

お問い合わせ・申し込み先

奈良県立図書情報館

申込み専用アドレス：
koen@library.pref.nara.jp

〒630-8135
 奈良市大安寺西1丁目1000番地
 TEL 0742-34-2111 FAX 0742-34-2777
 URL : <http://www.library.pref.nara.jp>

【交通アクセス】

- 近鉄奈良駅より
奈良交通バス停（8番のりば）から「県立図書情報館行き（22系統）」に
乗車し、終点。所要時間約20分。
- JR奈良駅より
奈良交通バス停（10番のりば）から「県立図書情報館行き（22系統）」に
乗車し、終点。所要時間約15分。
- 近鉄新大宮駅より
駅南口バス停から「四条大路南町行き（8系統）」に
乗車し、県立図書情報館西口下車。徒歩5分。所要時間約15分。
- 自家用車利用
国道24号線の柏木町交差点を東に折れ、1つ目の信号を左折。
約700メートル先の左手側。
駐車スペース：普通車311台。
1時間までは無料、それ以降は1時間毎に100円。

第4幕以降のテーマ（予定）

- 11/28 第4幕 恭仁京と紫香楽宮 - 大仏造立の序奏
- 1/23 第5幕 保良宮（ほらのみや）と由義宮（ゆぎのみや）- 平城京衰退の予兆
- 3/27 第6幕 長岡京 - なぜ平城京は廃都されたか